

山城ピクトグラムの解説

野面積



石垣（中世）野面積（のづらづみ）

自然石をそのまま積み上げる方法である。加工せずに積み上げただけなので石の形に統一性がなく、石同士がかみ合っていない。

打込接



高石垣（近世）打込接（うちこみはぎ）

表面に出る石の角や面をたたき、平たくし石同士の接合面に隙間を減らして積み上げる方法である。関ヶ原の戦い以後、この手法が盛んに用いられた。野面積みより高く、急な勾配が可能。

堀切



堀切（ほりきり）

尾根筋を切り込んで斜面に落として断ち切り、敵の侵入を防ぐための堀。逃げ道の土橋を残し窪地は水源になる。

豎堀



豎堀（たてぼり）

斜面を縦に切り込んだ堀。

土塁



土塁（どるい）

土を盛って敵を防ぐ。また身を隠すところ。

切岸



切岸（きりきし）

削平地の周りの斜面を身の丈あまりに切り込み急傾斜を造り、敵の侵入を防ぐ斜面。

磐座



磐座（いわくら）

古くから寺院の一部で修験者の行や雨乞い神事の聖地で、展望の良い岩や信仰の対象となる大きな岩。

合戦舞台



合戦舞台

合戦があったと言い伝えられる場所。

眺望良好



眺望良好

城下町、川・海、街道などがよく見える。

ネットワーク性



ネットワーク性

他の山城を目視可能な山城。